

SMALL VOICES Big Dreams 2014

To mark the 25th anniversary of the Convention on the Rights of the Child, children around the globe say what child rights mean to them.



子どもの権利について、子どもの声を聴く



アンドリュー ジョンストン
チャイルド・ファンド・アライアンス事務局（代理）

今年の Small Voices, Big Dreams が子どもの権利に焦点を当てたのは、様々な面において、最良なタイミングであったと思います。

今年が国連の子ども権利条約の 25 周年記念にあたるのは重要なことです。世界でもっとも多くの国が批准した条約で、現在、194 カ国がこの条約に署名しています。この条約によって、子どもの保護に関する各国の法整備は大きく前進しました。

この条約の導入部には、子どもたちが権利を持つこと、子どもたちへのケアと保護が必要であることが明記されています。以前は明確ではなかった子どもの権利は、今では法的に保護されています。

子どもたちがこれらの権利についてどう考えているのかを正確に理解するために、今回の Small Voices, Big Dreams は、子どもの権利条約に焦点を当てました。チャイルド・ファンドは、子どもを中心とした支援活動を行い、子どもへの暴力と搾取の防止が、ポスト 2015

年の開発目標に含まれるよう提唱している組織です。私たちは、子どもの権利について子どもたち自身がどのように感じているかを知りたいと思いました。

今年の Small Voices, Big Dreams 調査の結果は、世界の子どもの権利がきちんと守られるためには、まだまだなくてはならないことが沢山ある、ということを明らかにしています。

世界の子どもの 3 人に 1 人は、子どもが守られる権利は保障されていない、と言っています。調査に参加した途上国の子どもの 28%は、健康や教育にとって有害な労働から、ほとんど、あるいは全く、守られていないと答えました。

また、心配なのは、大人がいつも自分の意見をきちんと聞いてくれる、と答えた子どもがわずか 11%しかないことです。いくつかの国では 70%もの子どもが、学校へ通う権利が守られていないと答えています。

チャイルド・ファンド・アライアンスによる Small Voices, Big Dreams 調査の報告は今回で 5 回目になります。世界 44 カ国の 10 歳から 12 歳までの子どもたちの考えをまとめたものです。そのうち 34 カ国はアフリカ、アジア、アメリカの発展途上国、10 カ国は先進国です。

このように毎年行われる、子どもたち自身の考えをまとめた調査は他にはないと信じています。この調査は、子どもたちの声に耳を傾け、子どもたちの状況を学ぶまたとない機会であり、皆さんが行動を起こすよいきっかけにもなります。どうぞ下記 URL より「free from violence」のウェブサイトを訪ね、子どもたちが暴力と搾取から解放された世界を作るための署名にご協力ください。

<http://jp.freefromviolence.org/>

子どもの権利とはどのような権利だと思いますか？

この質問への答えは子どもの権利条約の分類に沿って、「育つ権利」、「守られる権利」、「参加する権利」、「生きる権利」の4つのグループに分けました。世界では52%（途上国60%、先進国40%）の子どもが、育つ権利について言及しました。

全世界で最も多い回答は、学校と質の良い教育へのアクセスについてでした（32%）が、途上国では40%、先進国では20%と大きな違いがありました。特に、東ティモール（88%）、アフガニスタン（87%）、ネパール（74%）で高く、米国（8%）で低い結果でした。



ファラ、ドイツ、11歳

「子どもが子どもであることを許されること。教育を受けられること。暴力を受けないこと。喜んだり怖がったりできること」。

あなたの国で守られていない子どもの権利は何ですか？

全世界で32%の子どもが、守られる権利が保障されていない、と答えました。特に、ホンジュラス（55%）、ボリビア（56%）、フィリピン（52%）で、多くの子どもが回答しました。

参加する権利について、先進国より途上国の子どもの方が、守られていない、と答えました。



ディエン、ベトナム、10歳

「子どもたちは誘拐から全然守られていません。私も村で見たことがあります。とても怖い男の人が女の子を連れて行きました。女の子は泣いていたけど、誰も何もできませんでした」。

子どもには、大人に自分の意見を言って、きちんと聞いてもらう権利があります。あなたの国ではどれくらいきちんと守られていると思いますか？

常に守られている、と答えた子どもの割合は、世界でわずか 11%でした。全く・滅多に守られていない、と答えた子どもは先進国では 18%だった一方で、途上国では 28%でした。



アフガニスタン、カムラン、10 歳

「年上の人には尊敬しなければいけないので、子どもが年上の人前で話すことはできません。子どもには意見を言う機会がありません。」

子どもには、身体的・精神的に、傷つけられることから守られる権利があります。あなたの国ではどのくらい子どもたちは守られていますか？

世界的に、身体的・精神的な虐待から常に守られていると回答したのは、わずか 16%でした。それよりも多い 19%の子どもたちが、が絶対に・滅多に守られていないと回答しました。



バヤルド、ニカラグア、11 歳

「大人は子どもを虐待し、繰り返し侮辱します。侮辱は体への暴力よりも悪い場合もあります。子どもたちは前に進めなくなってしまう」。

子どもたちは、危険な仕事や、健康や教育を阻害する仕事から守られる権利があります。あなたの国では、どれくらいきちんとその権利が守られていると思いますか？

「全く・滅多に守られていない」と答えた子どもの割合は、途上国で 28%、先進国で 8%でした。日本や北欧などの先進国では 80%以上の子どもたちが「常に・たいてい守られている」と回答した一方で、ニカラグア、マリなどの途上国では 60%以上の子どもたちが「全く・滅多に守られていない」と回答しました。



ラブウェル、ザンビア、12 歳

「ザンビアには採掘の仕事をしている子どもたちがいます。その仕事のせいで咳をする子どもも大勢います。全然守られていません」。

もし国のリーダーだったら、子どもの生活を改善するために何をしますか？

全世界で最も回答が多かったのは、教育や学習の機会の改善についてでした（39%）。先進国では 20% だった一方で、途上国では 51%と、大きな差がありました。安全や保護が 24%、食料・衣類・避難所が 20%と続きました。



デヴィ、ネパール、11 歳

「私がリーダーだったら、子どもたちに奨学金を渡します」。

実施手法

Small Voices, Big Dreams 調査は、チャイルド・ファンド・アライアンスによって 2014 年 5-6 月の間に実施されました。多くの国では、チャイルド・ファンドのスタッフが 1 対 1 のインタビューを行いました。

44 カ国で 10-12 歳の子どもを対象に調査を行いました。34 カ国がアフリカ、アジア、北米・中南米の途上国で、10 カ国が先進国です。途上国から 3,635 名、日本を含む先進国から 2,405 名、全世界で 6,040 名の子どもたちが参加しました。